

阿波放談

第107回

SMBC日興証券

徳島の経済活動を牽引する方々に、地域に密着した事業展開を語っていただく「SMBC日興証券 阿波放談」第107回は協立病院の小川功院長にお話を伺いました。

協立病院
院長
小川 功氏



地域医療に 一体感を。

■**高齢社会に対応した医療・介護体制を構築**
協立病院では1973年の開院以来、50年以上にわたって地域医療に携わってきました。脳神経外科や内科、整形外科、泌尿器科など10の診療科目があり、健診や人工透析、リハビリテーションなど各部門が連携を図りながら、地域の方々の健康を支えています。救急指定病院としての役割も担うほか、急性期病院の患者を受け入れる後方支援体制も築いています。また、医療法人として介護老人保健施設やグループホーム、居宅介護支援事業所を運営し、医療と介護それぞれのスタッフが密に連携を図りながら、高齢化が進む時代に対応しています。

■**スタッフを育て、地域の笑顔につなげる**
一昨年には国道439号沿いに新病院を開設し、より安心して来院いただける環境を整えました。病院には96床を備えた介護医療院を併設し、要介護認定を受けた方の長期療養を支えています。地域の方々に質の高いサービスを提供し続けるためには人材の確保が欠かせませんが、近年では医療従事者が都市部に流出するケースが増えているのも事実です。当院では外国人技能実習生をスタッフとして迎え、その成長をしっかりとサポートすることで、介護の現場に新しい風を吹き込んでいます。また、事業所内保育所を設けることで職員の育児を積極的にサポートし、いつでも安心して働き続けられる環境づくりにつなげています。

■**地域住民との信頼関係を深めるために**
地域医療を行う上で重要なのは、地域住民との信頼関係を築くことにあります。当院ではさまざまな活動を通じて、地域医療の一体感の醸成に努めています。こうした取り組みが皆さまの健康につながり、当院を今まで以上に身近に感じていただける機会になれば、これほどうれしいことはありません。「地域住民の健康を支え、安心・信頼できる病院であり続ける」という理念を実現するため、今後も一人ひとりに寄り添える存在でありたいと思っています。

「安心を育む」



地域から愛される病院を目指し、真摯に取り組んでこられた姿勢に感銘を受けました。少子高齢化によって医療・介護の現場にも新時代の波が押し寄せていますが、これからも地域の方々の安心を守り続けてください。

SMBC日興証券株式会社 徳島支店長 藤川 真人

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

SMBC日興証券



徳島支店 TEL.088-622-0151

電話受付時間／平日 午前8:30～午後5:30
徳島市八百屋町2-11(ニッセイ徳島ビル)

www.smbcnikko.co.jp

小川 功(おがわ・いさお)氏

1937年愛媛県生まれ。徳島大学病院や阿南医師会中央病院(現阿南医療センター)を経て、2001年より協立病院に勤務。23年2月より現職。